

流体制御の明日を開く






電動式自動弁の取扱説明書

この度は、弊社の電動式自動弁をご購入していただき誠にありがとうございます。本製品を安全に長期間で使用していただくため、必ず事前にこの取扱説明書をお読みいただきご理解の上、施工・ご使用ください。また、この取扱説明書を保管してください。紛失された場合には、弊社までご請求又は弊社のホームページから取り寄せ願います。

※本取扱説明書は主に電動式駆動部のみ説明しております。バルブにつきましては別途同梱の取扱注意書をお読みください。

●また、該当バルブのご使用において起こり得る人的、物理的な損害を下記の区分で表記しています。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをおこなうと、死亡・重症又は設備に重大な物的損傷を与える可能性が想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをおこなうと、怪我又は設備に物的損傷を与える可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この取扱説明書に従って事前準備、作業などを行っていただかないと、事故、故障の発生原因になる内容を示しています。

OKUMURA ENGINEERING corp.

電動式駆動部

1. 電流負荷が小さい（mmA以下）場合は、金接点マイクロスイッチ仕様に変更が必要です。
- ⚠ 注意 2. ご要求の仕様と、本製品の仕様が合致していることを確認して下さい。
- ⚠ 注意 3. 起動時には、定格電流の約10倍程度の電流が数秒流れます。よって、接続機器の接点容量はその分を考慮し選定願います。
- ⚠ 危険 4. 配線工事は、必ず電源を切ってから行って下さい。配線工事は電気工事有資格者が行って下さい。
- ⚠ 警告 5. 電線は、駆動部に貼付けされている配線図を参照して、端子台に確実に取付して下さい。
- ⚠ 注意 6. 電線被覆にキズを付けないように取付工事を行って下さい。
- ⚠ 注意 7. 電線引込口には、必ずケーブルグランドを用い、駆動部内部に水、湿気、ホコリなどが入らないように確実に施工を行って下さい。
- ⚠ 注意 8. 駆動部のカバーのボルトは均一、確実に締め付けて下さい。雨水、湿気などが駆動部内部に入り込み、作動不良の原因になる恐れがあります。また、電線の挟み込みにご注意願います。
- ⚠ 注意 9. コントロール弁において、長時間にわたり微小開度の作動が繰返し行われると、駆動部部品の局所に異常摩耗が発生し、故障の原因となりますのでご注意ください。詳しくは、ご相談下さい。

設置・配管作業

- ⚠ 危険 1. ハンドル部を持って運搬しないで下さい。
- ⚠ 警告 2. 駆動部に直接吊り具を掛けて吊り上げないで下さい。
- ⚠ 注意 3. 駆動部が水平より下方向になるような取付配管は行わないで下さい。
- ⚠ 注意 4. 駆動部が重い、垂直配管、配管・バルブの振動が大きい場合などには、駆動部にサポートを設けて下さい。または弊社までご相談下さい。また、配管荷重がバルブに掛からないように設置して下さい。
- ⚠ 注意 5. メンテナンスを考慮してバルブ及び駆動部を取外せるように、余裕を取った場所にバルブを設置して下さい。
- ⚠ 注意 6. バルブの設置場所の雰囲気温度が -10°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ 域以外の場合は、適切な断熱対策を取って下さい。同様に粉塵など雰囲気が悪い場合には対策を取るか、バルブの設置場所の変更を行って下さい。
- ⚠ 注意 7. バルブの取付後に配管のフラッシングをされる場合には、弁は全開にして行って下さい。また、フラッシング中に弁の開閉は絶対に行わないで下さい。

事前チェック

- 手動操作に切り替えて、バルブの作動確認を行って下さい。
 - ・全閉、全開位置、スムーズな動きを確認願います。
インジケータで開閉位置の確認ができます。
バルブを長期間作動させない（3ヶ月以上）、初運転の時には規定のトルクを超えて正常な作動がしにくい場合があります、予め手動操作で数回与作動をされることを推奨します。
- ⚠ **注意**・全閉、全開位置はストッパーに当たった所で重くなり、それ以上にハンドルを回すと故障することがあります。
- ⚠ **注意**・ハンドルを勢いよく回すとストッパーに急に当たり破損することがあります。
- ⚠ **危険**・ハンドルを差し込み手動操作する駆動部は、必ずハンドルを抜いてから自動操作にして下さい。ハンドルを抜かないで電源を入れるとハンドルが回り危険です。
 - 電源仕様、配線接続の確認を行って下さい。
 - 電源を入れ、作動確認を行って下さい。
開閉方向の確認、異音の有無、スムーズな作動の確認、異常がある場合は、上記の各作業を再確認して下さい。それでも改善されない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。
 - 全開、全閉の位置及びその位置信号が出力されているかの確認を行って下さい。
コントロール弁は、指示信号に対して弁開度が一致しているかの確認を行って下さい。
調整される場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

保守・点検作業

- 運転中の点検項目
 - ・バルブの全開・全閉の位置、スムーズな作動の確認
 - ・外観漏れの有無
 - ・異音、異常振動の有無
 - ・各種の取付ボルト、ナットなどの緩み脱落
 - ・錆の進行
- 点検頻度 毎日、週1～2日などと取り決めて定期点検を実施して下さい。
- 点検・修理の為にバルブ及び電動駆動部を取外される場合には、配管内及び機器の動力源を遮断し、流体及び残留圧力を完全に抜いてから作業を開始して下さい。

- 本書は予告なく改訂する場合があります。
- 本書は一般的な取り扱いについて説明しております。
- メンテナンスは、必ず取扱説明書に従い、作業を行って下さい。

ご確認事項

■保証期間

弊社工場から出荷後18ヶ月以内、もしくは試運転開始後12ヶ月以内とし、いずれか早く終了する期間内とします。

■保障内容

保証期間内において弊社の責により故障を生じた場合は、その製品の故障部品の交換又は修理を納入場所において無償で行います。(日本国内のみ)

■部品供給

製品及び部品は予告なく製造中止、改良を行うことがあります。

よって製造販売中止した製品において、中止後5年を経過した部品供給及び修理等に応じかねる場合がありますのでご容赦願います。

流体制御の明日を開く

OKM

株式会社 オーケーエム

本社・滋賀日野工場 〒529-1608 滋賀県蒲生郡日野町大谷446-1
TEL(0748)52-2131(代) FAX(0748)52-8154

東京支店	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-20-9 八丁堀FRONT 3F	TEL (03) 3206-1871	FAX (03) 3206-1873
大阪支店	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル11F	TEL (06) 6445-1223	FAX (06) 6445-1333
名古屋営業所	〒460-0006 名古屋市中区葵1-27-29 キリックスビル3F	TEL (052) 908-1811	FAX (052) 908-1812
広島営業所	〒730-0051 広島市中区大手町3-8-1 大手町中央ビル3F	TEL (082) 246-7532	FAX (082) 246-7597
福岡営業所	〒810-0072 福岡市中央区長浜2-4-1 東芝福岡ビル16F	TEL (092) 716-7090	FAX (092) 716-7091

CAT-BAT-BJJA-JC-J-EI